

なばり発! ボランティアパック参加者の声

峠を越えて、眼下に見えた爪痕。私は啞然とするばかりでした。そのような中で、作業を行い、地元の人々の明るさ、元気、笑顔がとても美しく感じ、私達が届けなければいけないのに頂いた感じでした。
石崎 守

私達が洗浄した写真が持ち主の目に触れ感謝してくれたら嬉しい。泥中から掘り出してくれた人、洗浄し復元してくれた人、貼り出してくれた多くの人が関わったことに感謝してくれたら本当に嬉しい。
吉岡 誠

世代を越えた仲間と協調しての活動、こんな経験は貴重。依頼先からの感謝、作業完了時に達成感、これら被災者と我々間との笑顔、この交流は何とも言えない、心の充実感が満ち溢れるひと時であった。
幸田 洋

ボラバスに参加されました皆様は、現地では3日間でしたが、一致団結して活動に取り組みました。今回の経験を将来予想される東南海地震に備えて、地域の中で災害ボランティアとしてキーマンになる様に期待申し上げます。
堀井 理

この大災害を前に自分は一体何ができるだろうかという思いがありました。実際に現地に入ってボランティア活動を行った後、被災者のご家族に「ありがとう」と笑顔で答えて頂いた事で自分がお役に立てたと感じております。
カズヒロ

雪の降る、春直前の地震とその後の津波の被災地は、真夏を迎えても4ヶ月の時間の経過が見られない復旧の遅れ。一人の力は微力でもそれを積み重ねる必要を感じた岩手・大槌への応援。被災地は人の手を求めています。
米山 芳久

津波の被害は思った以上に深刻でしたが、その一方で広大な更地に仮設の不動産屋や医院、コンビニ等が営業を始めており、復興の兆しも見えました。今後は、行政が早急に再建のプランを示すことが重要だと思います。
匿名希望

少々、消化不良の活動でした。諸先輩方の経験談が貴重なお土産になりました。良い仲間の方々を人生の宝にしたいと思います。
柏 元三

木切れ、ガラス片等とれだけ拾っても拾いきれなかったが、次につながる事を信じて作業しました。通りかかった大槌町の方に「できることはほんの少し」と話す。「そんなことはない!感謝しているよ。」という返答でした。やっぱりうれしいですね。ワタナベ

同じ場所に立ち、同じ作業をしても、持つ感想や出る言動は、参加者皆、様々だと思いました。毎日のミーティングでそれを感じましたが、他のボランティアパックの経験のある方の色々なお話も伺え、大変良い経験となりました。
匿名希望

今回の大震災は、来るであろう東南海地震を改めて思い起させるものでした。この困難とも言える災害のボランティアに参加させていただいて、将来どうすべきかの指針がかすかに見えました。良い経験でした。感謝。
トミー

浜松市民という立場で名張市主催のボランティア活動に参加出来たことに大変感謝しています。とても温かいボランティアチームだったと思います。そしてその温かさが現地の方々に伝わっていたと思います。
辻村 多文

3日間の活動を通じてまだまだボランティアが必要だと感じた。一人よりグループでの参加が現地に於いては有効であり受け入れ易いと思われるので今後も機会があればこのようなパックでボランティアに参加し現地の復興に役立てたらと思います。
柴田 則幸

今回の7/11~15のなばり発!ボラパックに参加して、一緒になりましたメンバーの方に親切にしてくださいましてありがとうございました。こういう風なボラパックが活動内容を被災者のニーズに対応して、続けていくことが必要だと強く思いました。
浅井 伸一



語ろうOh! つち

ボランティアパック後の7月23日(土)に活動を振り返る場として「語ろうOh! つち」を開催し、7名の参加者が参加され、テレビや新聞で見る現地ではなく、自分の目で見た現地の様子や活動を通じて築かれた仲間同志の『絆』など、5日間の活動について振り返りました。

